

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第3週の発生動向

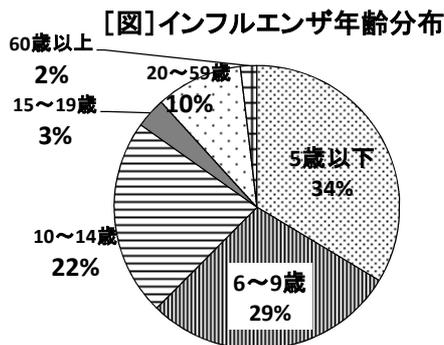
定点医療機関からの報告総数は2,587人（定点あたり59.0）で、前週比147%と増加した。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患は**インフルエンザ**と**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**で、減少した主な疾患は水痘であった。

【インフルエンザ】

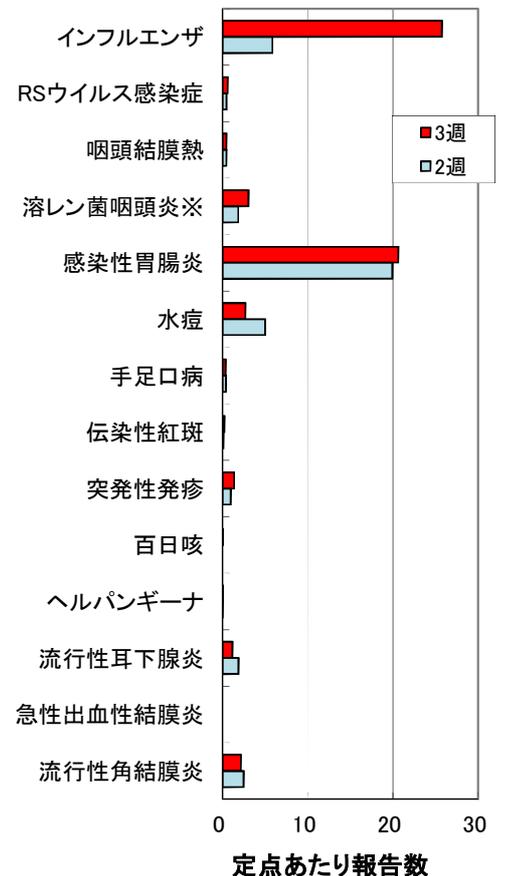
・報告数は1,495人（25.8）で前週比438%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（24.3）の約1.1倍である。日南（44.8）・小林（34.0）・延岡（31.3）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えた。年齢分布を[図]に示す。



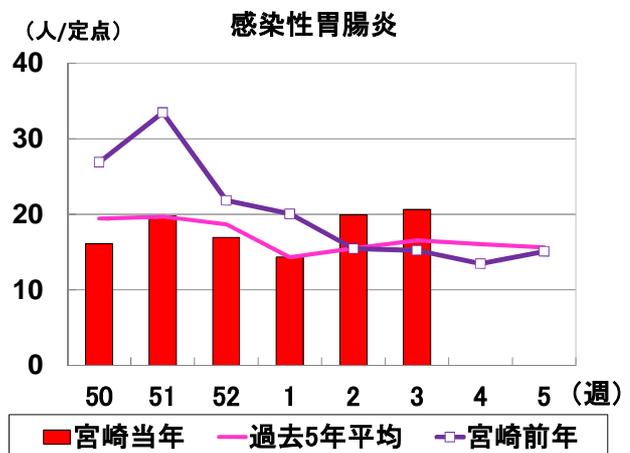
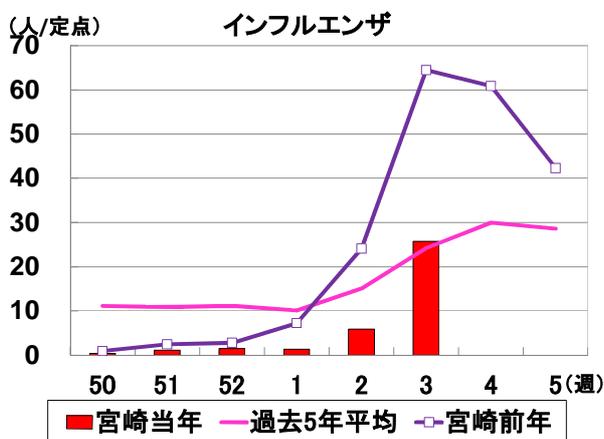
【感染性胃腸炎】

・報告数は722人（20.6）で前週比103%と横ばいだが、警報レベルを超えた。例年同時期の定点あたり平均値（16.5）の約1.3倍である。小林（50.7）・日南（40.7）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市・高鍋（各1人）保健所から報告された。患者は2歳、10歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	感染性胃腸炎(21.0)
延岡	インフルエンザ(31.3)・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0) 感染性胃腸炎(21.5)
日南	インフルエンザ(44.8)・咽頭結膜熱(4.3) 感染性胃腸炎(40.7)
小林	インフルエンザ(34.0)・感染性胃腸炎(50.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(25.0)

※流行警報開始基準値：インフルエンザ（30.0）、咽頭結膜熱（3.0）、
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（8.0）、感染性胃腸炎（20.0）

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 3 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 3 例。
- 5 類感染症：急性脳炎 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	60歳代	無症状病原体保有者	
		日南	30歳代	肺結核	咳、痰、発熱
		高鍋	80歳代	肺結核	痰
4類	つつが虫病	宮崎市	80歳代		発熱、刺し口、関節痛
		都城	50歳代		頭痛、発しん、筋肉痛
		小林	60歳代		発熱、刺し口、発しん
5類	急性脳炎	宮崎市	3歳	病原体：インフルエンザ	発熱、痙攣、意識障害

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

（平成24年1月10日～平成24年1月23日までに検出）

□ 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管出血性大腸菌 (O103:H2:VT1)	20代後半	男	2011.12.25	無症状	便	2012.1.4
腸管出血性大腸菌 (O103:H2:VT1)	5～9	女	2011.12.25	無症状	便	2012.1.10
腸管出血性大腸菌 (O103:H2:VT1)	0～4	女	2011.12.20	水様性下痢	便	2012.1.10
<i>Salmonella</i> Miyazaki (09:l,z13:1,7)	80代前半	女	2011.12.28	サルモネラ腸炎、胃腸炎、下痢	便	2012.1.10
<i>Salmonella</i> Typhimurium (04:i:1,2)	5～9	男	2012.1.6		便	2012.1.16

○家族内感染と思われる3名から、腸管出血性大腸菌O103:H2 (VT1)が分離された。2000年～2009年にかけての国内統計によると、O103は5番目に報告の多い血清型である。VT型別累計では、VT1のみ陽性が90%以上を占めており、VT2のみの陽性者はほとんど報告されていない。

□ ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
エコーウイルス6型	0	男	12.16	新生児発熱(日齢8)、39.0℃	便	1.16
エコーウイルス9型	2	男	12.17	エンテロ(?), 38.5℃、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	1.16
インフルエンザAH3型	5	男	1.1	インフルエンザA、41.0℃	咽頭ぬぐい液	1.13
インフルエンザAH3型	12	男	1.11	インフルエンザA、38.8℃、上気道炎	鼻汁	1.13
インフルエンザAH3型	34	男	1.12	インフルエンザA、39.0℃、関節痛、筋肉痛、咳、頭痛	鼻汁	1.13
インフルエンザAH3型	4	女	12.28	肺炎、40.0℃、下気道炎(肺炎)	咽頭ぬぐい液	1.17
インフルエンザAH3型	6	男	1.13	インフルエンザA、38.0℃、上気道炎	鼻汁	1.17
インフルエンザAH3型	1	男	1.13	インフルエンザA、38.0℃、上気道炎	鼻汁	1.17
インフルエンザAH3型	50	女	1.16	インフルエンザA、38.1℃、関節痛、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)、頭痛、咳、鼻水	鼻腔ぬぐい液	1.17
インフルエンザAH3型	11	女	1.16	インフルエンザA、39.8℃、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)、頭痛、全身倦怠感、鼻水	鼻腔ぬぐい液	1.17
インフルエンザAH3型	64	男	1.16	インフルエンザA、38.7℃、咽頭痛	鼻汁	1.17
インフルエンザAH3型	52	男	1.13	インフルエンザA、38.2℃、咽頭痛	鼻汁	1.23
インフルエンザAH3型	9	男	1.16	インフルエンザA、発熱、上気道炎	鼻汁	1.23
インフルエンザAH3型	5	女	1.16	インフルエンザA、39.5℃、上気道炎	鼻汁	1.23
インフルエンザAH3型	1	女	1.18	インフルエンザA、手足口病、発熱、発疹(手、足)	鼻汁	1.23
インフルエンザAH3型	3	男	1.18	インフルエンザ、急性脳症疑い、40.0℃	便・咽頭ぬぐい液	1.23
インフルエンザAH3型	13	女	1.18	インフルエンザA、38.9℃、上気道炎	鼻汁	1.23
インフルエンザAH3型	4	男	1.19	インフルエンザA、39.4℃、上気道炎	鼻汁	1.23

※インフルエンザAH3型はPCR法により検出

○発熱のある新生児からエコーウイルス6型が分離された。エコーウイルス6型は、最近、千葉県で集団発生の報告があり、嘔吐、頭痛、嘔気等の症状がみられている。エコーウイルス6型を含むエンテロウイルスの感染様式は、飛沫、接触、糞口感染であり、手洗い・うがい等の予防対策が大切である。

○発熱と発疹のある小児からエコーウイルス9型が分離された。

○インフルエンザと診断された小児12名および成人4名からインフルエンザAH3型が検出された。小児のうち1名は、急性脳症疑いであった。全国的にインフルエンザ検出報告は増加傾向で、AH3型がそのほとんどを占めている。AH1pdm09型については、今シーズンに入り本県での検出はなく、全国的にもこれまでにわずか4件の報告である。

■ 全国第2週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は25.1で、前週比133%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘であった。

インフルエンザの報告数は36,056人(7.3)で、前週比195%と増加した。岐阜県(23.8)、愛知県(22.6)、三重県(21.9)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の31%、6歳から9歳が20%、10歳から14歳が14%、15歳から19歳が4%、20歳から59歳が24%、60歳以上が7%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は30,979人(9.9)で、前週比135%と増加した。宮崎県(19.9)、大分県(18.0)、熊本県(17.1)からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳で全体の約3割を占めた。

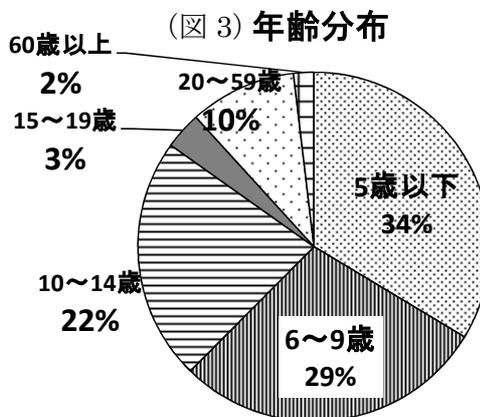
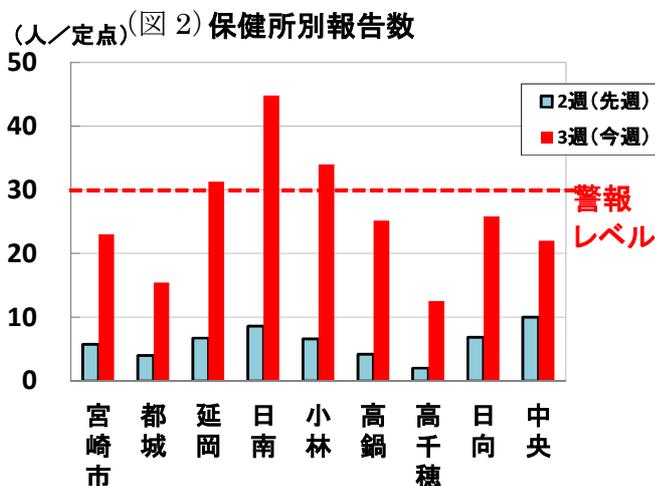
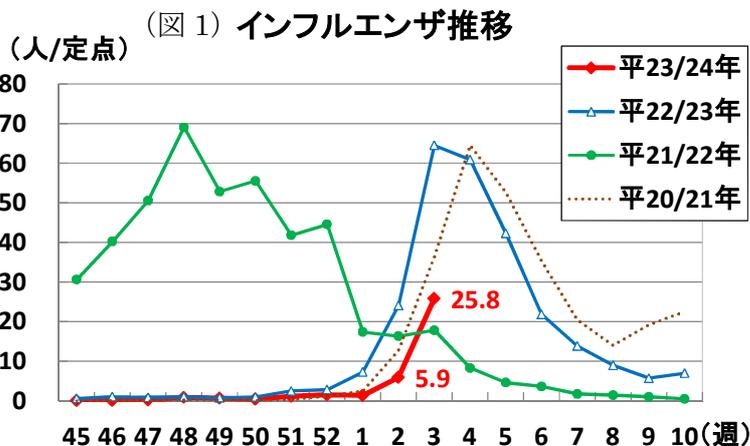
□ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	262例				
3類感染症	コレラ	1例	細菌性赤痢	5例	腸管出血性大腸菌感染症	16例
4類感染症	E型肝炎	4例	A型肝炎	1例	つつが虫病	8例
	デング熱	3例	レジオネラ症	6例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	9例
	髄膜炎菌性髄膜炎	1例	梅毒	9例	破傷風	1例
	風しん	1例	麻しん	6例		

■ インフルエンザ情報《県内第3週、全国第2週（再掲）》

□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

平成24年1月16日～1月22日までの1週間で1,495人（定点あたり25.8）の報告があり、前週に比べ約4.4倍と大幅に増加した（図1）。日南（44.8）・小林（34.0）・延岡（31.3）保健所からの報告数が多い（図2）。年齢分布を（図3）に示す。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、— 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (3週)		1週前 (2週)		2週前 (1週)		3週前 (52週)		4週前 (51週)		5週前 (50週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	25.78	△	5.88	—	1.36	—	1.49	—	1.14	—	0.39	—
宮崎市	23.00	△	5.75	—	0.69	—	0.38	—	0.25	—	0.06	—
都城	15.44	△	4.00	—	1.40	—	0.20	—	0.10	—	0.00	—
延岡	31.29	○	6.71	—	2.29	—	6.14	—	3.71	—	1.00	—
日南	44.80	○	8.60	—	2.00	—	3.20	—	0.80	—	0.00	—
小林	34.00	○	6.60	—	0.40	—	0.40	—	0.60	—	1.00	—
高鍋	25.17	△	4.17	—	1.67	—	0.17	—	0.17	—	0.00	—
高千穂	12.50	△	2.00	—	2.00	—	7.50	—	4.00	—	0.00	—
日向	25.83	△	6.83	—	2.00	—	0.50	—	2.00	—	1.50	—
中央	22.00	△	10.00	△	0.50	—	0.00	—	4.00	—	0.50	—

□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

平成23年1月10日～1月16日までの1週間で36,056人（7.3）の報告があり、前週の約2倍に増加した。岐阜県（23.8）、愛知県（22.6）、三重県（21.9）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の31%、6歳から9歳が20%、10歳から14歳が14%、15歳から19歳が4%、20歳から59歳が24%、60歳以上が7%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2012年 第03週(01月16日～01月22日)

疾病名		第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	341	1495	368	139	219	224	170	151	25	155	44
	定点あたり	5.88	25.78	23.00	15.44	31.29	44.80	34.00	25.17	12.50	25.83	22.00
RSウイルス 感染症	報告数	16	22	3	4	5			3		6	1
	定点あたり	0.46	0.63	0.30	0.80	1.25	0.00	0.00	0.75	0.00	1.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	16	16		1		13				2	
	定点あたり	0.46	0.46	0.00	0.20	0.00	4.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	65	107	19	17	40	2	11	7	3	3	5
	定点あたり	1.86	3.06	1.90	3.40	10.00	0.67	3.67	1.75	3.00	0.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	698	722	119	105	86	122	152	46	13	54	25
	定点あたり	19.94	20.63	11.90	21.00	21.50	40.67	50.67	11.50	13.00	13.50	25.00
水痘	報告数	176	94	30	11	20	6	11	6	1	3	6
	定点あたり	5.03	2.69	3.00	2.20	5.00	2.00	3.67	1.50	1.00	0.75	6.00
手足口病	報告数	14	13	1	6		6					
	定点あたり	0.40	0.37	0.10	1.20	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	8	3	1			2			2	
	定点あたり	0.14	0.23	0.30	0.20	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	34	48	9	8	10	5	4	7		3	2
	定点あたり	0.97	1.37	0.90	1.60	2.50	1.67	1.33	1.75	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数		3		2	1						
	定点あたり	0.00	0.09	0.00	0.40	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	2							1	
	定点あたり	0.06	0.09	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	66	41	13	2	4	9	3	5		2	3
	定点あたり	1.89	1.17	1.30	0.40	1.00	3.00	1.00	1.25	0.00	0.50	3.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	13	11	2							
	定点あたり	2.50	2.17	3.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	2	1					1			
	定点あたり	0.43	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～3週)

2類感染症	結核	8例(3)		
4類感染症	つつが虫病	11例(3)		
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	2例(1)

()内は今週届出分、再掲